

## このみちは…

笠間駅と石寺を起終点とするこのコースは、古くから焼き物や門前町として栄えた笠間市内や、郊外の田園地帯をめぐり延長約14kmの一般向けの歩道です。

### 笠間稲荷神社

日本三大稲荷の一つで、白雉年間（650年頃）の創建といわれています。宇迦之御魂神を祭っており、五穀豊穡、高産繁昌、招福の神として年間を通して多くの参拝者が訪れています。現在の社殿は安政、万延年間（1854～1861）弥勒寺音八、諸貫万五郎、後藤縫之助などの当時の名工により再建されたものです。

また10月中旬～11月下旬にかけてこの笠間稲荷神社境内を中心に行われる菊まつりでは、見事な菊人形や菊花壇等が飾られ、楽しめます。

### 笠間焼

笠間焼は、安政年間（1772～1782）に滋賀県の信楽焼の技法を採り入れ、製造したのが始まりといわれています。その後、嘉永年間（1850年代）に栃木県益子地方へ笠間焼の製法が伝わり益子焼が始まりました。笠間焼は手づくりのあたたかさと渋味が特徴で、市内には約200軒をこえる窯元があります。これらの窯元の中には陶芸教室をひらいているところがあり、手ひねりによる造る楽しみを味わうことができます。

### 佐白山

佐白山は、かつて元久2年（1205）に藤原時朝が笠間氏を名乗って山城を築いていました。現在、頂上付近の城跡には豊城入彦命などを祀った佐志能神社があります。山頂近くの南面には石倉と呼ばれる展望のすばらしいところがあり、筑波や加波の秀峰を一望におさめることができます。この佐白山のふもとでは、毎年4月下旬～5月中旬にかけてつつじまつりが行われます。

### 弥勒堂

鎌倉時代の宝治元年（1247）に建立され、当時は5間四方の広大なお堂でしたが荒廃したため建てかえられました。鎌倉時代の様式である本尊の本造弥勒菩薩像は国指定の重要文化財となっています。

### 交通機関

▶ JR水戸線笠間駅—茨城交通バス—石寺バス停  
20分

### 行事

- つつじまつり（佐白山） 4月下旬から5月中旬
- 陶炎祭（芸術の森） 5月上旬
- 菊まつり（笠間市内） 10月中旬から11月下旬
- 匠のまつり（芸術の森他） 11月上旬

### 美術館

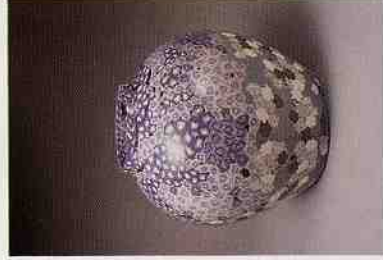
- 茨城県陶芸美術館 笠間市笠間2345 ☎0296-70-0011  
開館時間：9:30～17:00 休館日：月曜日（祝日の場合その翌日）
- 笠間日動美術館 笠間市笠間978-4 ☎0296-72-2160  
開館時間：9:30～17:00 休館日：月曜日（祝日の場合その翌日）

### 連絡コースの案内

連絡コースには標識等を設けておらず、また自動車等の交通量も多いので、接続するコースに移動する場合は注意して下さい。

- 石寺バス停—茨城交通バス10分—伝説の山と僧兵ゆかりのみち延長8km
- 笠間 駅—茨城交通バス15分—自然林をあるくみち延長11km

## みどころ



笠間焼



佐白山のつつじ



笠間芸術の森公園

## 茨城県の路線概要

— : 焼物とお稲荷さんへのみち

— : 関東ふれあいのみち



## 楽しいハイキングのために

- 野の花や木は、自然の中でこそ美しいのです。自然のままに残しましょう。
- 歩きながらの「タバコ」はやめましょう。火の元には十分注意しましょう。
- あとから来る人のために、自分のゴミは自分で持ち帰りましょう。
- 案内板や標識はみんなの道しるべです。大切にしましょう。
- 交通の不便なところがありますから、あらかじめよく調べておきましょう。

お問い合わせは

## 茨城県生活環境部環境政策課

〒310-8555 水戸市笠原町978-6 ☎029-301-2946 (画)

## 笠間市役所環境課

〒309-1698 笠間市石井717 ☎0296-72-1111 (代)



首都圏自然歩道

# 関東ふれあいの道

茨城県 4

焼物とお稲荷さんへのみち

石寺バス停～笠間駅



笠間稲荷神社

関東ふれあいの道は、

首都圏に残された美しい自然や歴史的文化的遺産などを“みち”で結び、

首都圏を一周する長距離自然歩道です。

茨城県内のルートは、御前山村から御前山、笠間県立自然公園、

水郷筑波国定公園や筑波研究学園都市を経て東町へ至る延長約255kmで、

18のコースにより構成されています。

家族や友人と一緒に歩きましょう。



茨城県